

授 業 科目名	【 G 】	フレッシュマン・セミナーⅡ	区 分		開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	フレッシュマン・セミナーⅡ	必 履 修			【 H 】 1		【 H 】 2
科目区分	基本科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	情報活用基礎					担当者	加納 久子	
授業概要	【概要】	本科目では、大学生に必要な「情報活用能力」の習得を目指し、インターネットにおけるルール＆マナー、最新のIT技術を題材に学修します。グループワークや演習、発表を通じて、論理的思考力、問題解決力、プレゼンテーション力を向上させることを目指します。						
	【到達目標】	「一般財団法人インターネット協会 インターネットにおけるルール＆マナー検定」の合格を目指し、情報活用に関する基礎知識と実践力の修得を目指します。						
履修条件	特になし。							
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		－ （当てはまらない）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		◎ （よく当てはまる）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		◎ （よく当てはまる）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)④		－ （当てはまらない）					
他科目との 関連性	「情報リテラシー」を履修済みであることが望ましい。							
教科書	適宜、資料を配信する。							
参考書	(電子書籍のみ)『問題解決のための AI活用力 事例をもとにAIツールで分析・考察』, 保本 正芳編者, 2024, noa出版, ISBN 978-4-908434-94-5 その他、必要に応じ、授業の中で紹介します。							
評価方法	発表や課題(90%)、授業への参加態度(10%)より、総合的に判断します。							
フィードバック 方法	Google Classroomを使用し、課題のフィードバックを行う。							
評価基準	上記評価方法に従い、参加態度が良好で授業内容について到達目標に達することができた人にはその程度に応じてSまたはA、一部不十分な参加態度や到達度がある人については、その程度に応じてBまたはCとします。それらが著しく低い場合には、その程度に応じてDまたはEとします。評価不能の場合はFとします。							

授 業	【 G 】	フレッシュマン・セミナーⅡ	区 分	開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】 2
科目名	【 H 】	フレッシュマン・セミナーⅡ	必 履 修		【 H 】 1		【 H 】 2
授業内容	第1回:ガイダンス・イントロダクション 第2回～第12回:講義・演習 第13回～第14回:発表準備 第15回:授業成果発表会 〈主な授業内容〉 SNSの活用 インターネットにおけるルール＆マナー インターネット白書 AI利活用 等 ※受講者の興味・関心に合わせて授業内容を一部変更する場合があります。						
予習内容	授業資料を読み、不明点や疑問点について調べる。(60分程度)						
復習内容	授業の内容を振り返り、学修した知識や機能を復習する。(120分程度)						
その他	・授業中の討議には主体的かつ積極的に参加すること。 ・グループワークがあります。 ・「一般財団法人インターネット協会 インターネットにおけるルール＆マナー検定」の対策授業ではありません。 ※G・Hカリ:【必履修(○お)】						